



α・ベースver.Ⅱ



αベースとは・・・

「都市に本物の緑を育て、鳥や昆虫を連れ戻すことができたら・・・」
α・ベースはそんな思いを実現するために開発されました。
重さは自然土の1/3、水もちは3倍（pF1.8～3.0）、しかも透水係数はなんと約100倍です。そして触っても、土のようによごれたり固まったりしません。
自然土のよい部分だけを引き出し、欠点を補いました。厳しい条件が求められる屋上緑化になくてもならないもの・・・
それがα・ベースです。

■ α・ベース性能表

| | | |
|----------------------|------------------------|------|
| 湿潤時の比重(kg/%) | 0.57 | |
| 三相分布(%) | 固相 | 11. |
| | 液相 | 31.2 |
| | 気相 | 57.0 |
| 透水係数(cm/sec) | 1.7 × 10 ⁻² | |
| 有効水分保持量 pF1.8～3.0(%) | 172.5 | |
| pH(H ₂ O) | 7.2 | |
| 塩基置換容量(cmol/kg) | 4.4 | |

■ 製品仕様

| 容量(%) | 重量(kg) | 容器 |
|-------|--------|---------|
| 100 | 約26 | ポリエチレン袋 |

注) α・ベースのポリウムは歩留り、余盛りを含め1.2倍必要です。

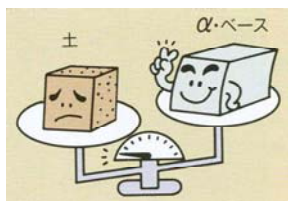
土の1/3の軽さで荷重制限をクリア

α・ベースの比重は土の約1/3です。貯排水のシステム組合せにより、H=3mの高木用植栽基盤が180kg/m²以下で造成可能になります。全体の許容荷重を考慮すれば、かなり自由な植栽が可能です。

建築基準法による積載荷重

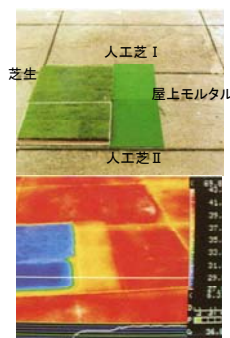
| 階 | 用途 | 積載荷重(kg/m ²) |
|----|---------------|--------------------------|
| 中階 | 一般住宅床 | 180 |
| | 事務室、教室、百貨店、劇場 | 230～300 |
| | 劇場、公会堂等 | 360 |
| 屋上 | 一般屋上広場 | 180 |
| | 学校、百貨店 | 300 |
| | 汚水処理場 | 1500 |

(単位kg/m²)



焼け込み防止効果で地球温暖化防止に貢献

保水力の高いα・ベースは、水分が気化することにより多くの潜熱を奪い、冷却効果が生まれます。このことが直接的にはコンクリートの熱放射を防ぎ、ヒートアイランド現象を防止するとともに、間接的には室内の冷房費をカット。植物による冷却効果に加え、土壌自体が、省エネ、地球の温暖化防止に貢献します。



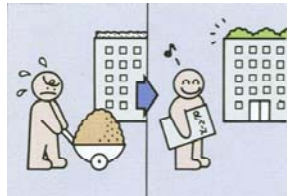
色で見る遮熱効果(サーモグラフィ)

東京工業大学 梅干野研究室 提供 ((株)香椎造園 協力)

工期を1/2～1/3に短縮

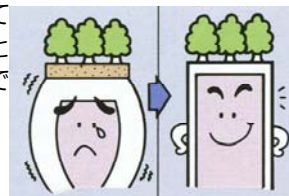
自然土を使用すると必ずレッカーによる荷上げ作業が必要です。また、周囲に土を散乱させ後処理も大変でした。α・ベースならエレベーターでも楽々搬入。

都市での夜間通行止めも必要ありません。楽々作業で工期は1/2～1/3に短縮できます。また、既存ビルの少量需要には宅急便で現場にも届けられます。



トータルコストを低減

軽量土のため、梁・柱が細くてすみ、トータルコストの低減と空間も有効に利用することができます。



<取り扱い注意事項>

- ・軽い材質のため、風による飛散にご注意下さい。
- ・α・ベース仕上がり表面は、貼り芝、マルチングにより飛散を防止して下さい。
- ・商品が目に入った場合は、水で洗い流して下さい。